

市政に関する

一般質問 要旨

第2回定例会では、25名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧ください。

YouTube 多摩市議会  で検索してください。



各議員の動画は
こちらから



多摩市議会会議録
検索システム



池田けい子 (公明党)

1. 命を守る防災・自転車ヘルメット
2. 補聴器購入費助成と軟骨伝導イヤホンの活用で加齢性難聴対策を

問 自転車ヘルメット着用促進のため、各所管と連携してその重要性を訴えるとともに、ヘルメット購入費助成事業のさらなる周知を要望するがいかか。

答 “被るのが当たり前”となるよう、関係機関とも協力し、着実な啓発活動に取り組んでいきたい。

問 子どもたちの命を守るため、学校に防災ヘルメットを設置すべきだと思うが、見解を伺う。

答 現在、身を守る手段として防災頭巾を保護者に用意していただいている。ヘルメットの有効性は認識しつつも、収納や衛生面、耐用年数など総合的に考え判断していきたい。

問 高齢者の加齢性難聴支援のため、補聴器購入費助成の実施を求めるがいかか。

答 調整やアフターケアなど、個々に適切に対応できる体制・制度設計ができるか検討を行っていく。

問 聞こえに不安を感じる人への支援、プライバシー保護の観点から、軟骨伝導イヤホンの導入を提案するがいかか。

答 導入先行市の状況を確認し、検討を進める。



きりき優 (自民党)

1. 無断駐車違法駐車対策について
2. 介護福祉サービスの整備について
3. スポーツ環境と熱中症対策について

問 無断駐車や違法駐車に対して現実的な解決策がない現状。拾得物として届け出て車両代の最大20%の報労金を受けること、住居侵入罪や建造物侵入罪などの不法行為責任を問うこと、道路管理者として占有料相当の損害賠償請求や不当利得返還請求を行うことなどできないか。

答 制度上は可能と考えるが現実的にハードルが高い。

問 放置自転車の撤去と同じ理屈で無断駐車や違法駐車している放置車両を撤去することはできるか。

答 できなくはないだろうと考えるが、車両損傷時の課題等がありなかなかそうはいかない。

問 物価高を価格転嫁できない介護福祉事業者へ物価高騰等対策支援給付金支給など支援策を実施すべきでは。

答 国の動きを見ながら必要に応じて検討していきたい。

問 スポーツ施設利用における今後の熱中症対策を伺う。

答 日除けシェルター設置や早朝利用等検討していく。

問 学校グラウンドのナイター設置を増やしてはいかか。

答 学校開放の夜間利用は稼働率に余裕があるので、空いている学校のナイター設備を使ってもらいたい。



岩永ひさか (夢まち会議)

対話のできる学校づくり

問 子どもの主体性を育む教育活動の具体的事例を伺う。

答 小学校では児童の提案により能登半島地震の募金活動を実施する事例や、中学校では生徒会本部が設置した意見箱に寄せられた声をもとに、校則の見直しに取組んだ事例などがある。

問 昨年度、教科書採択について小学校高学年へアンケートを実施したが、結果をどう受け止めているか伺う。

答 市教育委員会として初めての試みであり、先行事例もなかった。子どもの意見は重要だと手応えも得た。今年度は中学生を対象に実施する。

問 部活動の地域移行、PTAの在り方改革等、学校経営に権限を持つ校長が「対話力」を持ち、地域や保護者との関係性づくりに取り組む必要があると思うが見解を伺う。

答 「対話できる学校づくり」はコミュニティスクールを推進していくうえでも必要不可欠である。市教育委員会も、「対話」を重視し、活動を進めていきたい。

